

10/6 朝日

原発部門以外にも金品

関電 元助役に工事情報

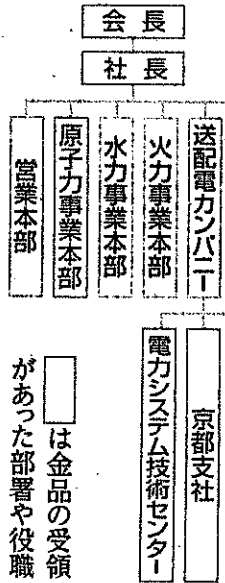
関西電力の役員らが高浜原発のある福井県高浜町の森山栄治元助役（故人）から多額の金品を受け取った問題で、送配電など原発以外の事業に携わる部署にも金品が渡り、森山氏への

工事情報の提供も行われていた。関電は近く第三者委員会を立ち上げて実態解明を進めるが、金品授受がさらに膨らむ可能性がある。

調査報告書では、20人が計約3億2千万円分を受け取っていた。関電によると、それ以外にも、送配電部門の「電力システム技術センター」（大阪市）で所長を務めた福田隆・常務執行役

員と、副所長だった2人も金品を受け取っていた。福田氏は商品券130万円とスーツ仕立券（50万円相当）、他の2人は商品券計120万円を受け取っていた。福田氏は商品券10万円、もう1人は同30万円を返却していないという。

関西電力の組織図



3人は森山氏に対し、3件の工事の概算額などの情報を伝えていた。1件は森山氏が顧問だった「吉田開発」が間接的に工事を受注した。関電は「特定の企業を下請けに使うよう指示したこともない。発注方法は適切」としている。

また、関電の京都支社の副支社長経験者3人にも計260万円分の金品が渡っていた。社内調査は、対象者を一定期間に森山氏と接点があった幹部の一部に限り、内容も自己申告だった。報告書は「個人の帳簿による記録がないなど、金額、時期を特定できないものも多く見受けられた」と指摘。第三者委員は原発部門以外にも調査範囲を広げ、過去にさかのぼって実態を調べることになる。（西尾邦明）